

平成二十五年度卒業論文・修士論文題目 (氏名・論文題目)

【卒業論文】

〔村田ゼミ〕

永田あずさ

日本語学

万葉集における乙類「の」の表記に使用される「乃」「能」の使い分け

狂言における男女の待遇表現のちがい

日本語学

大内 雅代

現代語における不完全な文にみられる形態と機能についての研究

駄洒落の言語学的特徴についての研究

小林 京

広島県の方言文末詞「デ」についての研究

佐伯 佑美

パブリックスピーキングにおける配慮のあり方と機能についての研究

志田奈々々

英語原作の翻訳における役割語のバリエーションと機能についての研究

竹本 紫織

方言接触場面における調整意識と調整行動についての研究―尾道市立大学の学生を対象に―

山口 翔平

日本の笑芸における笑いの発生と構造についての研究

中野 紘之

オノマトペを使用する効果と機能についての研究

古井明香里

談話行動における文末詞不使用の実態と運用条件についての研究

細川 彩

創作的コンテンツにおける女性語の使用変化についての研究

〔岸本ゼミ〕

小川 千尋

王朝物語における漢語の表現性―「変化」「愛敬」に注目して―

遠藤友佳利

『和泉式部日記』の成立背景―帥宮敦道親王をめぐる―

鎌倉 有沙

歌合活動における宇多天皇の意図―『亭子院女郎花合』を中心に―

〔藤川ゼミ〕

濱田 雄介

『貞永元年八月十五夜歌合』の注釈と研究

志水真祐子

一休『水鏡』注釈と研究

土居 京

『宇治拾遺物語』研究

松本 茜

『隆房脚艶詞絵巻』論考

〔藤沢ゼミ〕

小野 紅葉

近藤 夏海

椎江 麻実

山下佳奈子

大川はるか

〔寺杣ゼミ〕
泉 理沙

宇田 香織

小平田亜弥

三浦 友也

武藤 孔一

森藤 優花

山田やよい

〔柴ゼミ〕

三宅真奈美

三上みちる

近世文学 創作

翻刻『文化泰平楽記』

『天明水滸伝』論

人形浄瑠璃における許嫁考―『新版歌
祭文』を中心に―

富川房信画作『物草太郎』考

夕闇に棹さして

近現代文学 創作

横光利一の死生観―「春は馬車に乗つ
て」「花園の思想」「蛾はどこにでもゐ
る」を通して―

一廻り

宮沢賢治「グスコープドロの伝記」研
究―自己犠牲の精神について―

横光利一「機械」研究

織田作之助「アド・バルーン」研究

井伏鱒二「山椒魚」研究

希望と、限りなく液体に近い固体

近現代文学

三谷幸喜『笑いの大学』研究―三媒体
の比較と分析―

町田康『告白』における主人公・熊太
郎研究―沸騰することばの源泉―

渡部 絵里

『隠し剣』と『たそがれ清兵衛』の
“ヒーロー”たち

〔信木ゼミ〕

西田 将

山下奈緒美

〔鷹橋ゼミ〕

枝広絵里加

〔小畑ゼミ〕

粥川 太紀

藤澤 研治

〔藤井ゼミ〕

高江 祐二

肥田 伊織

渡邊理恵子

高橋ひとみ

国語教育

『史記』「項羽と劉邦」の授業―これ
までの扱われ方と授業構想―

一人一人の生徒に応じた国語科学習指
導のための学習記録の考察

中国文学

遊仙詩について―仙界の捉え方の変遷―
比較文学

『一九八四』を中心としたデイスティ
ア、ユートピアの比較

オリジンを中心に見る2大出版社のス
ーパーヒーロー比較分析

民俗学 〔伝承文学〕

広島県呉地方の例祭について―鬼役
「やぶ」研究―

堂本家本『十二類絵巻』の研究―詞書
と絵の関係について―

大分県東国東郡姫島村の伝説
群書類従本『続浦島子伝記』における

異郷―古代浦島説話からの変容―

〔光原ゼミ〕

創作

金田 萌

記憶

佐々木真央

天空の幻想

田邊 奏帆

myosotis

張 明珠

ララバイブルー

藤尾 史香

夢の瀬

牧野 和裕

魔術世界の事件簿―尾辻邸事件―

宮崎 綾

月のない夜に

山下美由紀

光蝶の森

山本みなみ

クリスタルのささやき

渡部 竜巳

神様の烙印

【修士論文】

太田 悠斗

『夢十夜』その構成と主題について―

「第五夜」「第九夜」「第十夜」を中心
に―

栢木 希望

御鳥喰神事の研究―瀬戸内海の伝承を
中心に―

平成二十五年度三年生・院生研究発表会発表題目（氏名・発表題目）

【3年生】

〔灰谷ゼミ〕

近藤 一樹

三浦 康穂

横山 研二

往見 理奈

小島 明子

金 慶花

〔岸本ゼミ〕

東 滋実

二渡 めい

宮田 萌生

森本深菜美

日本語学

「カッコいい」音について

ミュージカル脚本の演出と言語的操作について

落語に見られる「笑い」の手法

愛媛県大洲市河辺町方言における途上

出会いと別れのあいさつについて―尾

道市立大学内のあいさつと比較して―

出雲方言文末詞「ダニ・ニ」の用法と

世代差について

韓国大邱広域市のアクセントについて

中古文学

女の物語としてみる『とりかへばや物語』

語

『伊勢物語』業平像の虚構化と「二条

后物語」

『夜の寢覚』巻四の構造から見る生霊

事件

『落窪物語』の世界観―読者との結び

〔藤沢ゼミ〕

大谷 彩暉

白鳥 真澄

有木 志織

浅利 純子

村上 加奈

〔寺杣ゼミ〕

五十嵐景子

荻巢 健人

瀬島 紘久

中村 綾子

〔柴ゼミ〕

赤澤 早月

近現代文学

色好みのをんな―『好色一代女』『好

色五人女』を中心に―

『男色大鑑』巻二の二―傘もつてもぬ

るる身―考

黄表紙に描かれた寛政改革―風刺と滑

つき―

近現代文学

京伝黄表紙における地獄の描かれ方

『新編水滸画伝』『傾城水滸伝』に見

る、残酷描写の変容

川端康成「青い海黒い海」研究―タイ

トルについての考察―

もう一つの「夫婦善哉」

宮沢賢治「ビジテリアアン大祭」研究

メロンソーダ

『時をかける少女』研究―小説と大林

版映画の比較―

梶原 捺未

直喩と隠喩についてー再認識と再評価の試みー

桐沢 祐衣

『トリゴラス』シリーズ研究ー登場人物を中心にー

末廣 円

柏葉幸子作品における異世界の特徴ーどのように境界を越えるかー

福地 萌音

長野まゆみ初期作品研究ー表象としての「少年」ー

藤原 加歩

ジブリの食べ物は何故おいしそうに見えるのかー宮崎駿作品を中心にー

前畑 果鈴

現代のミュージックビデオー2000年以降におけるJ-POP歌詞の映像化の様態についてー

漱石文学におけるファム・ファタールの女性についてー『三四郎』『虞美人草』を中心にー

三好 舞

「からだ」を疎外する現代ー吉田修一『パーク・ライフ』を読むー

テレビアニメーションのオープニングムービーに見えるメッセージ性についてー1963年〜1968年のアニメOPを例にー

山下 裕策

古谷 清香

前谷 将吾

井上 実優

片野 望未

國貞 絢子

竹内しおり

中釜 拓生

長山 竜太

〔藤井ゼミ〕

〔民俗学〕〔伝承文学〕

大塚 真弓

諸木十二神祇神楽について

下野麻衣子

瀬戸内海沿岸における塩田の民俗文化の研究ー広島県竹原市の竹原塩田を中心にー

古谷 清香

子育て幽霊説話の変遷と埋葬習俗

前谷 将吾

月見行事の歴史

井上 実優

七福商店街弁当たまごや 草原の馬

片野 望未

八月の郷愁

國貞 絢子

おもいで おてだま

竹内しおり

此岸と彼岸で視線は啜う

中釜 拓生

ロゼットとメリーベル

長山 竜太

星と約束

山根 未来

メールと疑惑と殺人事件

山本 達貴

雪に咲く色

渡辺ひかる

45番目のメシエ

〔小畑ゼミ〕

〔近現代文学〕

福光 弘

星空とチョコレート

〔小畑ゼミ〕

七尾旅人が信じる「音楽」の力についてー『91IFANTASIA』を中心にー

〔小畑ゼミ〕

〔小畑ゼミ〕

〔小畑ゼミ〕

〔小畑ゼミ〕

〔小畑ゼミ〕

〔小畑ゼミ〕

〔小畑ゼミ〕

〔小畑ゼミ〕

〔小畑ゼミ〕

〔小畑ゼミ〕

〔小畑ゼミ〕

〔小畑ゼミ〕

〔小畑ゼミ〕

〔小畑ゼミ〕

〔小畑ゼミ〕

〔小畑ゼミ〕

〔小畑ゼミ〕

〔小畑ゼミ〕

〔小畑ゼミ〕

堀川 寛貴

ゴシック・ロマンスに見る大衆文化との関係と「語り」の問題

吉村 裕貴

魔法少女像の分析―『魔法少女まどか

☆マギカ』を糸口に―

〔鷹橋ゼミ〕

〔中国文学〕

新広智奈津

三国時代における医療技術

中島 優太

聊齋志異の幽霊について

【院生】

安藤 美里

「伝統的な言語文化」の学習指導における民話教材の扱い方